

学校が苦手な児童生徒の保護者の方へ

# 不安や困りごと、ありませんか？



## 学校に行きたがらない

- 朝、自ら起床することができない
- 学校に行こうとすると頭やお腹が痛くなる
- 家や自分の部屋から出たがらない
- 学校から帰ってくるといつも疲れている

## こどもへの接し方が分からない

- こどもに学校に行くよう働きかけてよいか
- 学校に行かない理由を聞いてよいか
- 理由を聞いてもよく分からない／答えたがらない
- 家庭学習を続けるべきか
- 誰にも相談できない

## 心配な状態が続いている

- ゲームやSNSに没頭して昼夜逆転している
- 学習の進度が遅れ、学校の授業についていけない
- このままでは、将来、進学や就職できないのでは
- 原因不明の体調不良が続いている
- 自傷行為が心配される



一人で悩まないでください

不登校は誰にでも起こり得ることです。

お子さんや保護者の方の周りには、行政・民間の様々な支援の輪が広がっています。このパンフレットでは、登校渋りや不登校が心配なお子さんやその保護者の方の相談先についてご紹介します。

# 多様な学びの場や支援の仕組みがあります。

登校渋りや不登校の児童生徒のための相談や学習の場、保護者の方を支援する様々な制度やサービスがあります。

まずは、学校に相談 (0544)54-0044

## 教育相談の担当者が学校を巡回しています

### 不登校対策支援員

- 不登校対策支援員は、各学校で登校渋りや不登校児童生徒のペースに合わせて学習のサポートをしたり、相談に応じてくれたりします。
- また、必要に応じて家庭訪問や、保護者の方の相談に応じてくれます。



### スクールカウンセラー

- スクールカウンセラーは、児童生徒の心のケアや、ストレスへの対処法などについて相談できる心理の専門家です。
- 必要に応じて、児童生徒に加え、保護者の方々のお話も学校の先生とは違う立場から、聴いてくれます。
- 面談の希望があれば学校に連絡をお願いします。

### スクールソーシャルワーカー

- スクールソーシャルワーカーは、児童生徒やその保護者に福祉・医療の支援が必要な場合に、その窓口とつないでくれたり、手続きの補助などをしてくれたりする福祉の専門家です。
- 必要に応じて保護者の方の相談にも応じてくれます。



## 教室や家庭以外にも直接相談を申込むことができます

### 富士宮市教育支援センター

(富士宮医師会館内)

- ◆富士宮市教育委員会が開設している施設で、登校渋りや不登校の児童生徒に活動の場を提供し、基本的な生活習慣づくりを支援します。また、個に応じた学習支援も行います。一定の要件を満たせば在籍学校の出席扱いになります。利用料は基本的に無料です。
- ◆教育相談や通級を希望する場合は、まずは、電話・メールにてお問合せください。

TEL:(0544)22-0064  
e-sodan@city.fujinomiya.lg.jp

### 適応支援教室アルファー(富士宮校)

(富士宮駅南口 徒歩1分)

- ◆学校や市教育支援センター以外の、日中の時間帯に登校渋りや不登校の児童生徒が通級して学習したり、自立に向けて興味のある活動に取り組んだりできる施設です。富士宮市教育委員会が委託契約している施設で、500円の事務経費以外は料金は掛かりません。一定の要件を満たせば在籍学校の出席扱いになります。
- ◆教育相談やペアレントトレーニングなど保護者支援も提供しています。

TEL:(0544)21-3511  
090-3237-3995